

船舶事故調査報告書

令和3年2月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	浸水
発生日時	令和2年6月7日 13時20分ごろ
発生場所	三重県津市津港 津港岩田川南防波堤灯台から真方位282°160m付近 (概位 北緯34°42.6′ 東経136°31.6′)
事故の概要	水上オートバイ ^{ウルトラ} Ultra130 ^{ディー} DIは、航行中、浸水した。
事故調査の経過	令和2年6月24日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	水上オートバイ Ultra130 DI、0.1トン
船舶番号、船舶所有者等	243-36151三重、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、特殊小型
負傷者	なし
損傷	機関に濡損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 3、視界 良好 海象：波高 約0.4m
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、航行中、ドレンプラグが閉められていなかったため、船内に浸水した。</p> <p>本船は、機関が停止すると共に徐々に浸水し、航行することができずに漂流していたところ、航行中の船舶にえい航救助された。</p> <p>船長は、自身が操船していた別の水上オートバイが絡索したので、これを救助しようとし、慌てており、ドレンプラグが開いた状態であることに気付かなかったと本事故後に思った。</p>
分析	本船は、航行中、船長が操船していた別の水上オートバイを救助しようとし、慌てて発航したことから、ドレンプラグが開いた状態の排水口を経由して船内に浸水したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、航行中、船長が操船していた別の水上オートバイを救助しようとし、慌てて発航したため、ドレンプラグが開いた状態の排水口を経由して船内に浸水したものと考えられる。
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドレンプラグを閉める等発航前の点検を確実にすること。